

戦争法案 口実 デタラメばかり

米艦防護 「日本人乗船 条件でない」

「日本人の命を守るため、自衛隊が米国の船を守る。それをできるようにする」。安倍首相は昨年7月、集団的自衛権の行使を決めた閣議決定の際の記者会見で、海外の紛争地から逃れる日本人の母子を乗せた米艦が攻撃を受けているパネルを掲げ、行使の「代表例」として説明しました。



ところが参院特別委(8月26日)で中谷防衛相は“日本人が乗っていても集団的自衛権行使はありう

る”と答弁しました。日本人を守ることでなく、米軍支援こそが本当の目的であることを示しています。

ホルムズ海峡の機雷掃海

イラン政府が否定

首相は集団的自衛権行使の「具体例」としてホルムズ海峡での機雷掃海を挙げています。しかしイラン政

府は「(同海峡を)開かれた、静かな海域にするべく最善を尽くしている」と機雷敷設を否定しています。

補給・輸送 毒ガスも核兵器も

従来の海外派兵法では、米軍への武器・弾薬の輸送・提供などは制約されていました。戦争法案ではクラスター爆弾、劣化ウラン弾、毒ガス兵器、核兵器まで、法文上は非人道兵器も大量破壊兵器も運

武器・弾薬の輸送、提供を大幅に拡大

	提供		輸送		戦闘発進中の米軍機への給油
	武器	弾薬	武器	弾薬	
周辺事態法	×	×	○	○	×
テロ特措法	×	×	×	×	×
イラク特措法	×	×	×	×	×
戦争法案	×	○	○	○	○

べるのが明らかになりました。

法案ボロボロ 廃案しかない

自衛隊内部文書

国民に知らせず

戦争法案を先取り

平時から米軍の指揮下に

共産党の小池晃参院議員が国会質問で暴いた自衛隊内部文書。戦争法案成立前から、国民の知らないうちに集団的自衛権行使の自衛隊体制づくりが進んでいることを示しました。

①今年4月、日米政府が改定した「ガイドライン」(「日米防衛協力のための指針」)では、新たに集団的自衛権の行使が盛り込まれました。内部文書では「ガイドライン」を上位に位置づけ、その実効性確保のために戦争法案が必要であることが赤裸々

にのべられています。

②日米共同の司令部を設置し、自衛隊を日米共同作戦計画の下に置いて活動させることを明記。

③南スーダンでの自衛隊の国連平和維持活動で、「駆けつけ警護」や「武器使用の権限拡大」などを追加。戦争法案を先取りしています。

④戦争法案の成立は8月、施行は来年2月と「日程表」に表記。国会無視、戦前の「軍部独走」と同じ事態が起きています。

国会無視の暴走

戦争法案に反対します 日本共産党

内閣総理大臣
安倍晋三殿

【要望事項】一、「戦争法案」を廃案にすること

氏名	住所